

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	妊婦等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	妊婦等保健相談事業の推進	事業番号	1104		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	家族	事業番号	2	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	安心して妊娠・出産をするために、妊娠前から出産、子育て期まで安心して相談できる体制、環境づくりを構築する。
Plan(事業概要・計画)	
智頭町で妊婦が妊娠期から安心して過ごすことができ、出産後も穏やかに過ごすことができるように子育て支援策を充実させる。	

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			5,906,718円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	産前・産後サポート事業	件(実)	1	1	0	0%
②	産後ケア事業	件(実)	0	2	2	-
③	産前・産後整体事業	件(延)	18	40	39	217%
実施内容						
・ 国保連合会経由で妊婦一般健康診査の健診票が返ってくるため妊産婦の健診結果を登録管理をし、健診状況の把握をしている。 ・ 必要時、妊産婦訪問を実施する。 ・ 妊婦健康診査の費用助成をする(1人あたり14回+クラミジア検査、多胎妊娠は+5回助成)。 ・ 不妊治療費助成(年々件数は増加傾向。R2は延11件の申請)。 ・ 産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産前・産後整体事業の実施。 ・ 産後健康診査の費用助成をする(1人あたり2回助成)。 ・ 妊婦歯科健診の費用助成をする。						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
・ 地域のつながりもあり、安心して産み育てられる環境が整備されつつある。 ・ 未熟児、子育て不安等を理由に産後ケア事業の利用実績があった。産後ケア事業の利用により、母親の子育てに関する不安の軽減につながった。 ・ 産前・産後整体事業が浸透してきたのか、令和元年度より、利用件数が増加した。身体変化の大きい産前・産後の母親の健康維持につながっていると考える。 ・ 妊婦歯科健診の利用者が少ない。妊娠期の歯・口腔内の健康は生まれてくる乳幼児の虫歯予防にもつながるため、引き続き利用促進が必要。 ・ 不妊治療申請者のうち5件妊娠届があり、効果があったと言える。						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：あらゆる場面で啓発、相談に努め対象者の不安解消につなげている				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
・ 関係機関とも連携し、不安を抱えている妊産婦等の早期把握・早期対応を継続する。必要時、産後ケア事業等を紹介する。 ・ 妊婦健診結果を把握し、妊婦健診未受診者がいれば対応する。 ・ 産後健康診査の助成が令和元年度から開始され、2年度から2回助成としている。利用の周知と受診勧奨の実施。 ・ 不妊治療費助成の充実のため、不育症等についての助成も近隣市町の動向を見ながら引き続き検討していく。 ・ 妊婦歯科健診の必要性を啓発する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	出会いの場「恋活」	所属	企画課	SDG s	5
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	3	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	豊かな自然の中で出会いの場として「恋活」を企画し、本町が思い出となりふるさととなることで移住者の増加を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部4町で婚活イベントの開催 ・ 智頭町婚活支援事業補助金の交付 ・ 町内企業や地区振興協議会にも広報し、若手の参加を募る。 ・ イベントを実施するにあたっては、町のPRに繋がるような内容とする。

R2年度

Do(実行)	R2実績額					79,110円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	東部4町婚活イベントの開催	回	1	2	2	200%
②	婚活イベントの参加者数	人	42	39	39	93%
③	智頭町婚活支援事業補助金の交付	円	200,000	0	0	0%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部4町合同婚活事業を2回開催。（10月18日、11月8日） ・ 町内企業、地区振興協議会への補助金の説明を行った。 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部4町合同婚活事業では、年代別でイベントを開催し、計8組のカップルが成立。 ・ 今年度の東部4町合同婚活事業の開催場所が鳥取市であり、各町のPRが十分に行えとは言えない。 ・ 智頭町婚活支援事業補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響のため利用が無かった。 					

R2年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由：	婚活イベントを実施する団体が固定化しており、婚活に限らず新たな視点での「恋活」事業を検討する必要がある				

R2年度

Action(改善)						
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、町内業者や地区振興協議会へ補助金のPRを行う。 ・ 東部4町については、4町でやる意味について協議を行い、見直しが必要。 ・ R2は鳥取市での開催となったので、R3は4町で行うメリットを活かしたイベント開催とする。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き家バンクの充実	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	4	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	地域団体及び地域住民と連携し、空き家バンク制度を運営。移住希望者へ空き家のスムーズな紹介、及び空き家活用を推進し、廃屋となる物件増加に歯止めをかける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の空き家を発掘し、空き家バンクへの登録を促す。 ・ 空き家バンクの状況調査を行い、利用促進に繋げるため情報を整理する。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額		600,000円		
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	新規空き家登録数	件	18	20	14	78%
②	空き家バンク成約数	件	13	15	21	162%
③	空き家バンク物件調査	件	0	5	14	-
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家相談会の開催（計2回） ・ 地域団体との空き家バンク物件調査 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家相談会を開催したことで新規登録に繋がった。 ・ 空き家バンク登録物件の現況調査票のたたき台を作成した。 ・ 平成29年度に実施した空き家調査から3年が経過し、空き家の状況が変化しているため再調査が必要である。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 空き家バンクの相談は多岐にわたるため、完璧な対応とまではいかないながら空き家活用の一助を担っている				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好評のあった空き家相談会の継続的な開催 ・ 地域の設計者、工務店が集まり結成した「ちづいえ」とR2年度に作成したバンク物件現況調査資料を基に円滑なバンク運営を図る。 ・ 空き家バンクの紹介物件が少なくなっているため、平成29年度の空き家調査の結果を基に物件確保に努める。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	移住定住事業の積極的な推進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	5	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	移住希望者の受け入れ体制の強化及び定住促進の推進を図ることにより、緩やかな人口減少となるよう施策を講じる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住イベントを開催し、移住希望者の確保に繋げる。 ・「SMOUT」を駆使し智頭町の情報発信を行い移住希望者の増加に繋げる。 ・定住に繋げるため各種補助の見直し、拡充を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額				46,548,214円	
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
①	移住者数	人	26	30	24	92%
②	オンライン移住イベントの開催・参加	件	0	1	3	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金の交付 ・オンライン移住イベントへの参加 ・SMOUTでの情報発信 					

R2年度（年度末実績を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦でイベントの実施が出来ない中オンラインイベントに参加したり、オンライン移住相談に対応したりと相談の幅が広がった。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B					
担当課長評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
評価	B	評価理由： 現状において重要施策であり、移住に限らず定住の促進も積極的に展開している必要がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズの高い補助金へと各種補助制度の見直しを行う。 ・アフターコロナの際、すぐに実施できるようイベントの企画を行い移住者の獲得に努める。 ・イベントや相談をオンラインで継続して行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特別支援学校通学児童生徒の支援と保護者の負担の軽減	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	7	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	県立特別支援学校に通学する児童生徒と保護者の負担軽減し、学びを保障するため、福祉有償運送事業者に通学に係る業務を委託するとともに、通学に係る経費を支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の通学支援事業を活用し、県立特別支援学校に通学する児童生徒、保護者を支援する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額				0	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	通学支援委託による登下校支援	回	220	0	0	0%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町シルバー人材センターに特別支援学校への通学支援事業を委託。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校までの通学距離が長く、入学年度には通学支援を要する児童生徒が増える傾向にある。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 特別支援学校への通学手段の確保と保護者負担の軽減が図られている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のニーズに寄り添い、子どもの学習保障を行う上では必要な措置である。 ・子どもの育ちと将来的な自立を見据え、きめ細やかな通学支援を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	豊かな子育て支援の推進	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て推進事務	事業番号	1784		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	8	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	
(1)関係課と協力した制度周知⇒給付金により在宅育児を推奨⇒豊かな親子関係＋保育園低年齢児の待機児童解消 (2)智頭農林高校生(県外出身)の下宿費を補助⇒県外からの人材確保⇒高校の魅力アップ⇒地域との交流が活性化 (3)高校生の通学定期代を補助⇒家庭の教育費負担を軽減⇒居住エリア毎の条件不利を是正＋地域公共交通を維持	

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			5,066,934	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	対象者に子育て給付金制度の活用を周知	戸	29	26	23	79%
②	智頭農林高校と連携した補助金交付	人	1	1	1	100%
③	対象家庭(高校生)に補助制度を周知	戸	-	130	74	-
実施内容						
(1)補助金制度を対象者に周知し活用を進めることで、制度の趣旨に沿った効果を拡大させる。 (2)福祉課と連携して保護者ニーズを把握し、子育ての困り感の解消に向けた対策を検討する。						

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
(1)子育て給付金 就労(保育園入所)より在宅育児を選ぶためのインセンティブとして月額30千円は少額だが勤務先で育児休業手当の支給がない保護者にとって経済的な救済効果は大きい。 (2)高校生通学費補助 居住地によって異なる通学費用が是正され、公平性が保たれている。						

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 他課連携で制度周知ができている。条件を満たす全ての対象者が受給している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
(1)子育て給付金の支給が成果ではなく、受給条件として「子育て講座の受講」を課すなど、費用対効果を発揮させたい。 (2)高校生通学費補助で得られる保護者との繋がりを一つのきっかけとして、家庭教育の啓発等を検討する余地がある。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	ファミリーサポートセンター推進事業	所属	教育課	SDG s	11	
事業（細目）名	ファミリーサポート事業の推進	事業番号	1788			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行く町づくり				
	視点	家族	事業番号	連番	110	

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	依頼会員と支援会員がお互いに会員になり、地域での子育ての相互援助を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会員、依頼会員の登録 ・ 地域で子育ての相互援助活動の調整及び実施

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			70,624	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	依頼会員	人	104	95	95	91%
②	支援会員	人	46	50	50	109%
③	支援利用数	人	532	50	23	4%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、小学校、児童クラブから塾・自宅への送迎 ・ 休日の食事付きの託児 ・ 閉園後の一時預かり ・ 会員の講習会 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	昨年は、毎日の利用や定期的な送迎などで利用率が高かったが、今年度は進級などによる退会、進級に伴う利用の見合わせで利用数が減少している。家族間での協力も多いと感じている。会員との信頼関係を築き、急な依頼にも対応できるよう体制を整えサービスの提供を行った。昨年度より、随時対応できる支援会員を数名確保しているが、支援会員のほとんどが就労状況にあり、実際の支援は難しい。現在、事業内容の周知、啓発を行いながら会員の募集、登録につなげている。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 利用調整によりニーズを満たすサービス提供ができています。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は支援が受けられないケースはないが、実際に活動できる支援会員の募集を行う必要がある。 ・ 年度により利用数に増減はあるが、支援体制が整っていることが安心につながるので継続していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	子育て支援ネットワーク協議会の取組の推進	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	子ども家庭福祉事業	事業番号	2083			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり				
	視点	家族	事業番号	10	連番	111

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもと子育てにやさしいまちづくりを実現する。
Plan(事業概要・計画)	<p>○要保護児童対策地域協議会(子育てネットワーク協議会)の適切な運営を図る。</p> <p>・代表者会議(年に1回) ・実務者会議(年に2回) ・個別ケース会議(随時)</p> <p>○普及啓発活動(11月の児童虐待防止推進月間に重点的に取り組む)</p>

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					83,499円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	虐待通告(相談) 件数	件	9	10	10	111%
②	虐待認定件数	件	0	2	2	-
③	個別ケース会議数	件	4	7	7	175%
実施内容	<p>・虐待通告（相談）件数：7件 ・虐待認定件数：1件</p> <p>・実務者会議実施：2回 ・個別ケース会議：4回</p>					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>専門職配置のもと、児童相談所の職員、児童福祉施設の職員、医療機関等との連携が図りやすく迅速に対応ができる。その反面、学校機関との連携がリアルタイムに図りにくくなり共有の場がもちにくくなった面がある。個々のケースがそれぞれ重複家族を抱えて、対応に時間を要し苦慮している。</p>					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	<p>評価理由：手探りであるが、必要な連携や対応がきちんと丁寧に行われている。反面、体制未整備、不十分な部分もまだあり、今後検討が必要。</p>				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)						
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
	<p>・記録用紙、個々のケースの管理の方法等まだ体制がまだ定まりきれていないため、今後も近隣の他自治体の体制を参考にしつつ整えていく。</p> <p>・相談体制等の充実を図り、子育て施策の整理を行い、母子保健、児童福祉、教育等の連携のあり方を検討する。</p>					

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDGs	4・8・11
事業（細目）名	ちづ保育園事務費	事業番号	2050		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	「共に手を携え生きていく力を育てる」
(1)ちづ保育園の全体計画、年間指導計画、例月計画をもとに、日々の安全で安心できる健やかな保育を実施する。 (2)特別保育の実施により多様化する就労形態に寄り添い、家族の子育てと暮らしを支える。 (病児病後児保育・延長保育事業・障がい児保育・一時預かり事業・乳児保育ほか)	

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額		235,914,096			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	安定した保育等を実施するための職員の確保	人	49	46	45	94%
②	保育の質向上のための研修等(指導計画検証)	回	48	50	30	104%
③	小学校との円滑な接続にかかる就学支援	回	5	5	5	100%
実施内容		・事業継続に必要な職員を確保し、保育配置基準とニーズに沿ったきめ細かい保育サービスを提供できた。 ・多様化する時代の変化に対応した保育を行うため、職員研修と保育理念の共有を図り、スキルアップを図った。 ・一方、養育者がワークライフバランスを整え、家庭での子育て力向上や保護者同士のつながりを強化する取組が必要。				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・多様化する保護者の就労パターンに対応した保育の受入を行うことができている。 ・若手保育士が増加し、今後は効果的な研修を適宜実施し、保育士の対人支援スキルの向上により保育の質を高めていく必要がある。				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：各家庭の事情に沿ったきめ細かい保育の受入を実施している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
・新しい生活様式に対応した保育方法や家庭との連携体制が求められる。園内での感染防止対策はもとより、マチコミメールを活用した保護者への情報伝達や、家庭目線での保育の在り方を柔軟に取り入れていく。 ・出生数が減少する反面、低年齢での入所希望が増加傾向にある。保育士の安定的な確保方を検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	保育園事務費	事業番号	1080		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労等の事由で家庭での保育が難しい状況の園児を保育時間外に保育する「延長保育」、風邪等に罹患した状態を保育する「病児保育」、一時的な保育を行う「一時預かり事業」の実施。 ・多様な年齢、特性を持った子どもを受け入れる「乳児保育」、「障がい児保育」の実施。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			13,401,430	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	延長保育利用希望申請園児数	人	62	60	68	97%
②	病児保育利用者数	人	195	200	62	103%
③	一時預かり事業利用希望者数	人	12	15	16	125%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から開始した会計年度任用制度に基づき、職員配置の適正化と園運営の安定化のために保育時間の改正。 ・保護者の保育ニーズを調査し、第2期子ども子育て支援事業計画を策定。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の多様な保育ニーズに沿ったきめ細かい保育サービスの提供。 ・利用を希望された保育サービスを提供するために必要な職員の確保及び配置の維持。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 智頭病院従業員の就労支援と、待機児童の予防に繋がっている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)						
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、在籍園児数は減少しているものの特別保育を利用する園児はあまり減っていないため、現状を維持した保育サービスの提供を行う。 						

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	子育て支援センターの利用促進と家庭訪問事業による母子指導の	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て支援センター / 育児支援家庭訪問事業	事業番号	1786 / 1789		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	113

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子育て中の親子が相互の交流を行い、子育ての相談、情報の提供、助言、援助を行うことで孤立感や不安感の緩和を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほほえみ事業の充実 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ・子育て相談の充実と子育て意識の啓発

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額		12,279,729		
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	利用人数	人	2,267	2,000	1,500	88%
②	設定保育・行事・お出かけ支援数	件	36	42	27	117%
③	子育て講座・のびっこ相談会数	件	33	13	8	39%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広場 平日9:00～16:00開設 ・誕生会（毎月）・作って遊ぼう（毎月）・お出かけ支援（毎月） ・行事（運動会・お楽しみ会・収穫祭・クリスマス会・お散歩会 ・子育て講座（ベビーオイルマッサージ、フラワーアレンジメント・命の授業&ヨガ講座）・のびっこ相談会（年7回） 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる身近な拠点としての中核的な役割を果たし、適時に必要な講座や情報提供を行い子育ての不安や負担の軽減につなげた。 ・昨年度末より新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの中止、行事を縮小して行っているが、活動は充実しており満足感につながっている。 ・少子化、第2子以降無料により就園率が高く、未就園児の減少が課題である。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由：対象者は減少しているが、親子の愛着形成に必要な環境を整えている。					

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止を徹底し、その年のニーズに合わせた事業の展開が必要。 ・保護者との信頼関係を築き、きめ細やかな配慮をしながら利用につなげていく。 ・関係機関と連携を図りながら、具体的な援助につなげていく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	高齢者等移送サービス事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	高齢者等移送サービス事業	事業番号	1057			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	13	連番	114

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	在宅生活の自立支援を図り、地域福祉の増進・地域の交通手段の確保
Plan(事業概要・計画)	高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。 シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					8,630,100円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	福祉有償運送サービス	円	606,000	612,000	504,000	83%
②	タクシー利用助成	円	7,915,650	8,460,000	8,126,100	103%
③						
実施内容		<p>シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う（利用者が負担する年会費に相当する額6,000円×84人）。</p> <p>また、高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。75歳以上の免許不所持者、介護認定を受けた者、障害者手帳（身体・知的・精神）所持者が対象で、タクシー利用1回につき3,000円を上限として利用費を助成するタクシー券を年48枚（月4回分）交付する（最低500円は自己負担）。</p>				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>タクシー利用費助成については、平成25年4月の施行以来、高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保するための重要な役割を果たしている。一方で年々助成費が増大していたが、令和2年度分から創設された県の補助金制度により、財源を確保することが出来た。</p>				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保するための事業が行えている。利用費の増大、夜間の問題等課題もあり、検討が必要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<p>タクシー利用費助成については、年々利用費が増大しているという点が課題だったが、令和2年度利用分から創設された鳥取県の補助金で一定の財源は確保出来ることになった。令和3年度以降についてもこの補助金を活用しながら助成事業の維持を果たしていきたい。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	成年後見制度等の活用による高齢者の権利擁護の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	権利擁護事業費	事業番号	1817		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	14	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の権利擁護の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、消費者被害など権利擁護に関する相談受付・対応、必要な情報提供。 ・消費者生活センター、あんしん相談センターささえー等との連携。 ・成年後見制度の利用促進における申請の支援。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			2,000円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	高齢者虐待・権利擁護に関する相談案件数	件	10	7	6	60%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族、関係機関等からの権利擁護に関する相談の受付、対応、情報提供を行う。 ・消費者被害に関しては消費者生活センター、判断能力の低下がみられるケースについてはあんしん相談センターささえー等と連携する。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、ケアマネージャー、関係機関等から虐待の恐れありと通報があったケースに対して、マニュアルに沿って対応。丁寧な対応が求められるため、ケースにより、非常に対応に時間がかかることもある。 ・計画に沿って対応を行っているが、その評価が十分に、また適切な時期に行えていない。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：高齢者虐待の初期対応は迅速に行えている。対応計画作成、対応も出ているが、対応の評価が不十分等今後検討が必要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の初期対応は迅速に行えており、対応計画の作成及び対応は行えている。期限までに対応の評価が行えるよう、マニュアルを改訂し、スケジュールを可視化できるようにするなど工夫する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	成年後見制度等の活用による高齢者の権利擁護の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	成年後見制度利用支援事業	事業番号	1943		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	14	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の権利擁護の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用促進における申請の支援。 ・高齢者虐待、消費者被害など権利擁護に関する相談受付・対応、必要な情報提供。 ・消費者生活センター、あんしん相談センターささえー等との連携。 ・低収入の方への後見人等の報酬助成。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			251,907円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	後見人等報酬助成件数	件	0	2	2	-
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の活用を促進するための相談対応、申請支手続き支援。 ・成年後見制度の町長申し立てに要する費用支払い及び、低収入の方への後見人等の報酬助成。 ・あんしん相談センターささえー等との連携。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力の低下したケースについては、あんしん相談センターささえー等との連携により丁寧な対応が行えている。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：関係機関との連携もきちんと行え、適切に事務が行えている。対象者についても丁寧な対応が来ている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業の必要なケースが発生した場合は、適切に対応を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3, 11
事業（細目）名	総合相談事業費	事業番号	1816		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者についての総合相談を受け付ける。 ・介護認定の申請受付。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			17,530,143円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	総合相談受付延件数	件	4184	4200	4518	108%
②	介護認定新規申請受付件数	件	124	110	117	94%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の総合相談窓口として、医療・介護・福祉や、それに関する社会資源についての情報提供も含めた総合相談を実施。関係機関との連携も行う。 ・総合相談の結果、要介護認定の申請が必要な人には、申請書類の受理、認定調査を行う。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外関係機関や民生委員等と連携しながら、総合相談につないだ方がよいケースを早期に把握し、対応している。 ・高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの知名度は低く、引き続き窓口のPRは必要。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：関係機関等との連携、丁寧な相談等、質の高い総合相談が行えている。住民にセンターの周知が十分でない部分がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い総合相談を行えるよう、引き続き、関係機関等との連携を行い、職員の質の向上（研修受講など）に努める。 ・地域包括支援センターの役割を、パンフレットや広報等を活用して周知する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	認知症初期集中支援推進事業	事業番号	2046		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れ相談日の設置。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額				6,636,657円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	物忘れ相談延件数	件	6	10	6	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月定例で物忘れ相談日を設け、認知機能低下の早期発見、早期対応、本人や家族の安心につなげる。スクリーニングとして、物忘れ相談プログラムを活用。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れを心配している人が相談に来やすいよう、毎月定例で相談日を設けている。 ・相談に来た人に対して、今後の必要な対応策を提示できている。 ・相談に訪れる人が少ない。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：相談に来た人へは一定の効果がある。気軽に相談できる工夫とセンターの周知が必要である。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・早期相談の必要性を周知するとともに、集落の集まりで物忘れ相談プログラムを体験するなど気軽に相談できる工夫を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業番号	2047		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者家族の会の開催。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					701,284円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	介護者家族の会参加延人数	人	22	20	23	105%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と家族の会鳥取県支部代表者を助言者に迎え、日ごろの家族の悩みを引き出ししたり、介護者同士の経験を共有しあっている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4・5月は活動を休止。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者は日ごろの介護で視野が狭くなり、一人で悩んでいることも多い。このような場を行政が設けることで、介護疲れの軽減につながり、精神的な安定にもつながる。 ・介護している人は多いがこの会に参加する人が少ない。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 意義ある事業だが、参加者が少なく事業目的を達成できていない。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)					
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネとも連携し、この事業の目的を周知するとともに、介護者が参加しやすい事業形態を検討する。 ・認知症に関する普及啓発と認知症の人・家族の支援体制構築のため、認知症に関する講演会を開催する。（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で講演会開催を中止し、パネル展示とした。） 				

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	人権を尊重するまちづくり【総務課所管】	所属	教育課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	小学校・中学校同和教育研究事業	事業番号	1329・1330		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	部落差別の現実をふまえ、差別に気づき、差別に負けない、人の痛みのわかる児童の育成、いじめやなかまはずし等を許さない人権を尊重する教育の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校同和地区進出学習会の実施 ・小中学校における部落差別をはじめとする差別の解消に向けた人権教育の充実

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額	636,357			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	地区進出学習会の実施校	校	2	2	2	100%
②	学校における人権教育(人権学習公開等)の実施校	校	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において地区進出学習会を実施し、地区児童生徒の学力向上、人権学習、仲間作りの充実を図った。 ・小中学校で人権教育公開学習を実施し、児童生徒の人権学習の取り組みを周知するとともに保護者、地域住民への啓発も行った。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育公開学習により子どもの人権学習を深めるとともに、保護者とともに考える機会を持つことができた。 ・総務課、児童館等の関係機関と連携し、人権教育を進めることができた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：学校及び総務課人権担当が連携し、人権教育を実施できている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も小中学校及び総務課人権担当と連携し、人権教育の充実を図る。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	同和対策事業、社会同和教育費等		事業番号		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑰	連番 117

R2年度

Goal(目標)	人権尊重の意識で、家族・地域・まちがつながることを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域学習会、各種研究集会の実施 ・同和地区住民の生活、教育環境改善対策 ・人権相談の充実

R2年度

Do(実行)	R2実績額					59,459,685
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	小地域推進学習会の実施	件	112	125	109	97%
②	生活改善事業（習字教室、生け花教室等）	件	102	119	99	117%
③	特設人権相談所の開設	件	12	12	12	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域学習会、各種研究集会の実施 ・隣保館、集会所、児童館事業 ・奨学金支給と親子研修会 ・特設人権相談 ・人権の花贈呈式、人権教室（智頭小学校） 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事業で啓発効果があるが、引き続き一人ひとりが人権尊重の意識を高め、家族、地域、まちが あたたかにつながるような細やかな声かけや気配りが必要である。 					

R2年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナ禍で各研修が実施できなかったため。				

R2年度

Action(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行が終息次第、各地区同和教育推進協議会の取り組みが早期に実施できるよう職員、幹事に啓発し意識を促す。 ・広報「人権の窓」など町報を使って啓発を続けていく。 ・人権教育推進員、人権擁護委員の活動を支援し、啓発活動を継続していく。
------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	16
事業（細目）名	同和対策事業	事業番号	1071		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R2年度

Goal(目標)	部落差別解消に向けての人権課題、生活課題の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権の擁護に関する審議会の開催 ・ 久志谷児童遊園の整備 ・ 部落解放同盟への活動支援

R2年度

Do(実行)	R2実績額				9,761,368	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	基本的人権の擁護に関する審議会	件	1	1	1	100%
②	久志谷児童遊園整備	箇所	0	4	4	-
③	部落解放同盟活動支援	件	1	1	1	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久志谷児童遊園整備による安心・安全な場の確保 ・ 地区住民の人権・同和問題研修参加支援 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区住民の人権意識の高揚の成果があるが、地区内における意識や生活による格差が課題である ・ 久志谷児童遊園整備により地区内外の子どもたちの利用がある 					

R2年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	
----	--

評価理由：	
-------	--

R2年度

Action(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落差別解消に向けての生活・意識の課題の把握
-------------------	--

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	16
事業（細目）名	社会同和教育費	事業番号	1855		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R2年度

Goal(目標)	部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町同和教育推進協議会との連携（部落解放智頭町研究集会や小地域推進集団学習会の実施） ・ 地区奨学生保護者研修会の実施 ・ 職員等人権同和问题研修会の実施

R2年度

Do(実行)	R2実績額		3,257,704			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	智頭町同和教育推進協議会との連携	件	1	1	1	100%
②	地区奨学生保護者研修会	件	3	3	3	100%
③	職員等人権同和问题研修会	件	4	3	3	75%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落解放智頭町研究集会実行委員会の開催や小地域推進集団学習会実施の推進 ・ 奨学生保護者研修会を3回実施 ・ 男女共同参画、同和问题についての研修会を3回実施 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での研究集会は見合わせる事となったが、小地域推進集団学習会は95%が実施している ・ 地区の子どもたちの進路保障にむけて、自覚が高まっている ・ 人権・同和问题解決のリーダーを担うべく職員の人権意識の高揚 					

R2年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：				

R2年度

Action(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践、行動が伴う研修の持ち方
-------------------	--

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	16
事業（細目）名	人権教育推進員設置事業	事業番号	1856		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R2年度

Goal(目標)	部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町同和教育推進協議会との連携（部落解放智頭町研究集会や小地域推進集団学習会の実施） ・ 町内企業等への啓発 ・ 人権同和教育推進協議会への助言

R2年度

Do(実行)	R2実績額				2,535,702	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	智頭町同和教育推進協議会との連携	件	1	1	1	100%
②	町内企業への啓発	件				-
③	人権同和教育推進協議会への助言	件	0	1	3	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落解放智頭町研究集会実行委員会の開催や小地域推進集団学習会実施の推進 ・ 地区同和教育推進協議会への助言 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での研究集会は見合わせる事となったが、小地域推進集団学習会は95%が実施している 					

R2年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	
----	--

評価理由：	
-------	--

R2年度

Action(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進員の業務を行える環境改善
-------------------	--

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	隣保館運営事業	所属	総務課	SDG s	16
事業（細目）名	隣保館運営費	事業番号	1073		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	16	連番

R2年度

Goal(目標)	地域住民の福祉の向上と人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンター
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談事業 ・ 啓発及び広報事業 ・ 教養・文化活動（習字・生花）

R2年度

Do(実行)	R2実績額				5,664,056	
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 習字教室	回	39	50	41	105%	
② 生花教室	回	22	22	18	82%	
③ いきいき教室	回	6	6	2	33%	
④ 解放文化祭	回	1	1	1	100%	
⑤ りんばかんだより・ぐんりんぼう	回	3	3	3	100%	
⑥ 地区高校生保護者交流会	回	1	1	1	100%	
⑦ ネットモニタリング	回	0	47	41	-	
⑧ 人権問題講演会	回	1	1	0	0%	
⑨						

実施内容 習字教室毎週水曜日開催・生花教室毎月第2・4水曜日開催
 いきいき教室本折地区・久志谷地区でそれぞれ1回開催 解放文化祭2地区合同で開催
 りんばかんだより年2回ぐんりんぼう年1回発行 地区高校生保護者交流会年1回開催
 ネットモニタリング毎週木曜日実施 人権問題講演会（新型コロナにより中止）

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題
 ・新型コロナウイルス感染症の影響で事業の一部を中止、開催回数の減少をすることがあったが、マスク着用や消毒を徹底し事業を行うことができた。

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：				

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民を含めた地域共生社会の実現のために、利用しやすい施設づくりを行う。 ・ 新型コロナウイルス感染症の様子を見ながら、感染症対策を徹底したうえで引き続き事業を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	久志谷児童館	所属	総務課	SDG s	
事業（細目）名	久志谷児童館費	事業番号	1086		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R2年度

Goal(目標)	部落の完全解放の担い手の育成
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会（人権学習、地域学習、学力保障、仲間づくり） ・文化教室 ・保護者研修会

R2年度

Do(実行)					R2実績額	15,982,408
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	解放子ども会	回	21	16	25	119%
②	文化教室	回	1	2	2	200%
③	保護者等研修会	回	2	2	1	50%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会（1年生を迎える会、一日体験学習、反戦平和映画会、解放文化祭、反差別・平和クリスマス会等） ・文化教室（ちぎり絵、スイーツ） ・保護者研修会（インターネットと人権） 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習は、「命の大切さ」のテーマのもと、人の存在意義や人権侵害を許さない仲間意識が高まった。 ・日々の生活や自分を大切にする気持ちへつなげる学習に取り組み、安全や平和への意識が高まった。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：				

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・差別解消に向け、児童館の目的や目指す子ども像の共有を保護者としていく。 ・地域への愛着や先人への感謝の気持ちが育つよう、人権学習や地域学習の充実を図る。 ・子どもたちの夢実現に向けて、人との出会いや個に応じた学力保障をしていく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	本折児童館事業		所属	総務課	SDG s	
事業（細目）名	本折児童館費			事業番号	1087	
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	16	連番	117

R2年度

Goal(目標)	仲間を大切に、部落問題をはじめとするあらゆる差別に真正面から立ち向かえる子どもの育成を目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会活動（一年生を迎える会、世代間交流、一日体験学習、解放文化祭、反差別平和クリスマス会、野外活動、お茶会、お別れ会ほか） ・関係機関との連絡調整と活動支援

R2年度

Do(実行)	R2実績額		11,374,952			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	解放子ども会	回	29	21	20	69%
②	文化教室	人	35	10	5	14%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会（一年生を迎える会、一日体験学習、親子ふれあい交流会、反戦平和映画会、解放文化祭 ・文化教室（本折地区住民対象） 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症予防対策のため、事業の変更ならびに中止を行い、前年に比べて開催数の減。 ・人権学習テーマ「いのちの大切さについて」を通して、自分を大切にすること、思いやりの心を育て人権意識の啓発につなげてきた。 ・対象児童5名と少ないが、少人数を生かし特性や能力に合わせた事業展開と声かけを行った。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：				

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の個票を作成し、仲間関係を観察する。健全育成と人権意識が高められるよう事業内容を展開する。 ・人権啓発のため、地域のことを知り、地域の人とふれあう企画を検討する。 ・解放子ども会・地区進出学習会の学習が、家庭につながられるよう事業内容の展開。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	
事業（細目）名	社会教育施設費	事業番号	1209		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	① 家族	事業番号	16	連番

R2年度

Goal(目標)	人権侵害、あるいは差別をもたらす要因の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理 ・ 習字教室、文化教室等の実施 ・ 部落問題講演会の実施

R2年度

Do(実行)		R2実績見込額	10,883,495			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	部落問題講演会	回	2	2	2	100%
②	習字教室	回	41	47	40	98%
③	解放文化祭	回	1	1	1	100%
④	集会所だより	回	42	48	15	36%
⑤	高齢者ふれあいサロン	回	0	9	9	-
実施内容		部落問題講演会：地域住民・一般を対象に2回開催 習字教室：地域児童を対象に毎週水曜開催 高齢者ふれあいサロン：ひばり荘を会場に月1回程度・年間9回開催 解放文化祭2地区合同で開催 部落問題講演会：年2回開催				

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・新型コロナウイルス感染症のため一時期習字教室を中止、講演会は第1回の開催時期が遅れたが、講師・会場等の事業規模の変更により開催できた。				

R2年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：住民の基本的人権に関わる事業であるため。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画 ・新型コロナウイルス感染症の様子を見つつ、教室、講演会、文化教室を、適正な方法で実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報公開条例・個人情報保護条例に基づく円滑な情報公開の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	社会同和教育費		事業番号		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑰	連番

R2年度

Goal(目標)	町政の説明責任を全うすることにより、公正で開かれた町政を推進する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開の積極的な実施 ・個人情報取扱の厳正化

R2年度

Do(実行)	R2実績額					0
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	情報公開請求件数	件	35	40	53	151%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開請求があった際、各担当課へ通知する。 					

R2年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の情報公開請求件数は35件であり、円滑に処理をおこなえた。 ・3カ年の件数はH30年度が34件、R元年度が35件、R2年度が53件と増加している。 ・請求内容は工事設計書、本人通知制度に関する物が主だった。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 情報公開を適正に行うことができた。				

R2年度

Action(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開条例、個人情報保護条例及び施行規則の見直しを適宜おこなう。 ・個人情報の厳正化にも注意しつつ、情報公開制度について、町報や告知端末等を使用して町民へ広く周知する。
------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	買い物弱者のためのシステムづくり	所属	企画課	SDG s	10
事業（細目）名	地域支援推進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	18	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	山間集落の買い物弱者に対して、町内の事業所が移動販売車を利用し、販売することで買い物弱者への支援を行う。その際の移動販売車運営経費について一部補助を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町・鳥取県補助制度の周知 ・ 支援対象事業者のヒアリング（買い物福祉サービス支援） ・ 移動販売車導入の補助

R2年度

Do(実行)	R2実績額					229,000円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	買い物福祉サービス支援交付件数	件	0	1	1	—
②	支援対象事業者のヒアリング	回	3	1	2	67%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者へ補助金を周知 ・ 1事業者へ補助金を交付 ・ 支援対象事業者の事業経過のヒアリングを実施（10月2日、2月12日） 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者を支援することにより、買い物弱者への買い物支援や高齢者の見守りに繋がっている。 ・ 事業者と状況経過のヒアリングを行うことで、見守り体制の改善や、円滑な事業進捗に繋がっている。 					

R2年度

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由：	事業主体とともに、次世代告知端末を活用し連携事業を今後模索し、住民にとってより良いものとする必要がある
-------	---

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ より住民に寄り添った見守り体制の構築を行うため、事業者と協議を行う。 ・ 従前の移動販売（見守りを含む）に加え次世代告知端末を活用した買物代行の試験的運用を目指す。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	相談支援体制の充実（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	家族	事業番号	19	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者・その家族の心身の状態や生活の困り事が相談でき、地域で安心して生活出来る。
Plan(事業概要・計画)	障がい者・その家族の心身の状況や生活の困り感等の相談に応じ、必要に応じて医療や障がい福祉サービスの利用に繋げる。鳥取県東部4町共同で相談支援センターサマーハウスに業務委託し実施。障害者総合支援法に定められた必須事業。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			3,071,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	相談回数	回	697	700	545	78%
②	サービス利用への結びつけ	名	6	6	2	33%
③	サマーハウスとの定例会	回	12	12	12	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談（訪問・来所・電話・ファックス等） ・個別支援会議 ・研修会・会議等への参加 ・見学・通院同行 ・ひきこもり訪問 ・その他個別ケースに応じた対応 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	業務を委託する相談支援センターサマーハウスの所在地からの距離、業務量の多さから、支援を必要とする際に即応が難しい場合も生じている。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：法的には義務的事業であり、相談等に対して丁寧に対応している。今後も検討を行いつつ、関係機関と連携しながら事業実施を行う必要がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	継続して業務委託を実施し相談支援体制の提供を行う。鳥取県東部4町障害者地域生活支援協議会において基幹相談支援センターの設置について検討を行い、場合によっては一部事務を基幹相談支援センターへ委託し業務の改善を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	地域生活支援事業（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	11	
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	20	連番	121

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	地域の状況に応じ柔軟に事業を実施し、地域で日常生活及び社会生活を営むことができる。
Plan(事業概要・計画)	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施することで、障がい者等が地域で日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。障害者総合支援法に定められた必須事業と任意事業からなる。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額				3,727,664円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	事業実績見込	千円	3,685	4,214	3,727	101%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通支援事業 延利用数28回 ・日常生活用具 延利用数395回 ・移動支援 延利用数4回 ・日中一時支援事業 延利用数26回 ・自動車改造助成 延利用数1回 ・運転免許取得助成 延利用2回 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	利用者のいないサービスによっては事業所がサービスの提供を終了したものもあるため、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態により事業を実施し、サービス提供体制を確保していく必要がある。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：法的に義務的事業であり、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態により事業を実施している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	地域生活支援サービスについては利用者の状況変化や死亡により増減があるが、提供事業所や対象用具については関係事業所、他自治体と協議し提供体制の継続的な強化を図る必要がある。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	世帯を横断する低所得者対策事業	所属	福祉課	SDG s	11	
事業（細目）名	生活困窮者自立相談支援事業	事業番号	2011			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	21	連番	122

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	生活に困難を抱える者の相談窓口のワンストップ化を実現し、相談者が困ることが無いような体制作りを行う。断らない相談支援を実現し、必要とされる出口事業（生活保護、家計改善、就労支援等）へのつなぎを行なう。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			449,540円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	生活困窮者自立相談支援事業利用者	人	14	10	11	79%
②	就労支援利用者	人	5	5	3	60%
③	家計改善事業利用者	人	2	3	4	200%
実施内容	①断らない相談体制の構築 ②被保護者、生活困窮者への就労支援（伴走型支援） ③出口事業の充実支援					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	① 実際に相談を断ってはいないが、体制構築をしっかりと行うには、まだまだ課題が多い。 ② 就労支援については、伴走型で行い、就職に繋がっている者も多い。 ③ 出口事業として、家計改善や債務整理、就労支援、障害者施策への支援等幅広く行っている。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：コロナの影響もあるが、困難な相談が増えているが、丁寧に相談に対応している。今後も必要な事業だが、マンパワー面での課題がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	令和3年度は、重層的支援体制整備の構築に向けての仕組みづくりを重点的に行い、より多岐に渡る相談に対応できるよう整えていく。

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	世帯を横断する低所得者対策事業	所属	課	SDG s	11	
事業（細目）名	子どもの貧困対策推進事業	事業番号	2026			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	21	連番	122

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習支援事業（ひとり親学習支援事業含）の実施。 ・子ども食堂を実施し、困窮世帯については、自立相談支援窓口に繋ぐ。 ・子どもの成育環境調査を実施。子供たちが置かれている環境を分析し今後の施策展開の資料とする。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					4,835,186円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
①	子どもの学習支援利用者	人	244	250	250	102%
②	子ども食堂利用者	食	1,133	1,500	1,500	132%
③	子どもの成育環境調査	人	0	560	448	-
実施内容	<p><子どもの学習支援事業>・小学校1年～3年生(毎週火曜日)・中学3年生(毎週金曜日)</p> <p><子どもの居場所づくり推進事業>・子ども食堂「えん」(旧諏訪保育園)開催 毎週水曜日</p> <p><子どもの成育環境調査>・保育園の保護者、小・中・高校生とその保護者を対象にアンケート調査を実施</p>					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	CHECKはR3年度から実施					

R3年度（11月末に記入）

評価		方針		拡大		現状維持		抑制		廃止	
担当課長評価											
評価	B	評価理由：子どもの学習支援事業、居場所事業については丁寧な対応等円滑に実施出来ている。コロナの為、子どもの貧困調査は項目の検討のみとなった。									

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの学習支援、居場所づくり推進事業（こども食堂）は、継続して、事業実施する。 ・子どもの成育環境調査を保育園の保護者、小・中・高校生とその保護者を対象にアンケート調査を、今後の課題と取り組みに生かせるよう実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	自主防災組織の育成および活動支援	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	1	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	自主防災組織（支え愛マップ作成済自治会）率100%
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会（自主防災組織）向け防災活動用補助金を活用した地域防災活動の支援。 ・支え愛マップづくりを支援する。→説明会の開催、実施支援。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			29,578,597円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	みんなで取り組む防災活動支援事業費補助金活用	自治会	1	5	2	200%
②	支え愛マップづくり（新規）	自治会	5	1	0	0%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用自治会：中原（備蓄品購入）、惣地（消火ホース更新） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、支え愛マップづくり支援実績なし 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が全国で猛威をふるい、支え愛マップづくりの支援実績がなかった。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用団体を増やし、地域防災に力を入れてもらうよう、改めて周知する。 ・新型コロナウイルス感染症終息後に、支え愛マップづくりの新規作成、更新作業を周知する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	消防団活性化対策の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	非常備消防費	事業番号	1179		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	2	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	消防団活動を継続させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団拠点施設の整備（残りは智頭地区消防団拠点施設）→役場庁舎の整備方針に従う。 ・消防団員の装備の充実を図る。 ・消防団員の処遇改善。（報酬等）

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			30,153,166円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	消防団員数	人	415	415	403	97%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数を維持するために、戸別訪問を行い勧誘する。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ自動車所有分団へ防火衣を配備し、安全性の向上に寄与した。 ・消防団員報酬を一律2,000円/年UP。 ・消防団出動手当の導入。1,000円/回 ・小型動力ポンプ運搬車両購入補助制度創設 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプ所有分団へ防火衣を配備し、安全性の向上に寄与する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	疎開保険事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	疎開保険事業	事業番号	1951		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	6	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	加入者へ町の特産品を送ることで智頭町について興味を持ってもらい、関係人口の創出を図るとともに町内生産者の収入向上に繋げ地域活性化を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・疎開保険加入者への特産品送付 ・智頭町、疎開保険のPR活動の実施（美味しい田舎を味わう会）

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額					1,242,324円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	加入者口数	口	66	80	51	77%
②	加入者への特産品送付	回	1	2	2	200%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・心の疎開プロジェクトの実施 ・加入者への特産品の送付 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により外出自粛を余儀なくされた加入者に対し、心の疎開プロジェクトと題して特産品を送付し、アフターコロナに向けてフォローを行った。 ・メディアに取り上げられたこともあり新規加入者が増加した。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 関係人口の創出を図るには有用であるが、今後は新規加入者の増加のための企画立案が重要である				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続加入者が減少している傾向にあるため加入者特典の拡充を行う必要がある。 ・現状以外でのPR方法の模索（オンラインでのイベント開催等）

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	まちづくり支援事業	所属	企画課	SDG s	8、11
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	10	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	コミュニティ団体やボランティア団体等が行う地域に密着した協働によるまちづくりを推進し、地域活動の振興を図り、まちづくりへの積極的な参加を促していくことを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成による全戸配布・情報周知 ・まちづくり団体による申請内容の精査 ・選考委員会の開催による事業採択 ・これまでの採択事業の経過を知るため、報告会などを開催。

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額				8,653,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	チラシ配布などの情報提供	回	6	6	6	100%
②	まちづくり支援事業の申請件数	件	2	5	5	250%
③	②のうち採択件数	件	1	3	3	300%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成・配布、HP・告知端末を活用した住民への周知を行った。 ・事業申請を行う団体へのヒアリングを実施。（事業計画、継続性について） 					

R2年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・採択事業により、空き家の活用、自然の新たな活用、住民活動の促進等に繋がる事業となった。 ・新型コロナウイルスの影響により、これまでの採択事業の経過を知るため報告会を開催できていない。 ・審査員の公開が必要になったため、対応策が必要。 					

R2年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：やる気のある団体等の支援であり、できる限り有効に活用していく				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに事業を実施するため、申請内容のより正確な審査が必要。 ・補助制度の更なる周知の徹底 ・公開審査へ向けて、開催方法などの検討が必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	観光協会の機能強化	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	13	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭町の観光の中核を担う観光協会内の魅力向上をはかる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材の磨き上げ。 ・観光協会運営補助。 ・旅行商品の造成。 ・情報発信及び物販売り上げの増加。

R2年度

Do(実行)		R2実績			38,469,839円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	観光協会独自のツアー造成数	個	2	5	1	50%
②	物販売上収益	円	860,000	1,000,000	700,000	81%
③	イベントの開催	回	4	4	1	25%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに打ち克て観光促進事業の実施によるツアー造成及び補助。 ・売上増加のための物販スペース改修及び陳列商品の見直し。 ・観光協会への運営補助。 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品造成のための補助事業を行っているが、コロナ禍の影響もありツアー造成数が少ない状況が続いている。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：行政依存であり、もっと自主性を引き出す必要がある。				

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・物販強化のための環境は整い、今後は売上及び観光客増加に向けた自主的な取り組みが必要不可欠であり、そのための連携強化を計る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	東部圏域をはじめとする近隣自治体との連携による移住定住促進及び広域観光事業	所属	企画課	SDG s	17	
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりのできるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	14	連番	129

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、新温泉町、香美町と連携することにより、県外の人にイメージをもってもらいやすくし、観光PRや移住定住相談等の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の自治体と連携し、移住相談会を開催する。 ・麒麟のまち（大阪市北区中之島）を活用して特産品の販売や観光PRを行う。

R2年度

Do(実行)						R2実績額	0円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
①	移住相談会への参加	件	1	1	1	100%	
②						#DIV/0!	
③						#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちとして「とっとり来楽暮カフェ（オンライン）」へ参加（3月） 						

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン移住イベントに参加したが相談件数がごく僅か(2件)であったため、PR方法などについて見直す必要があると感じた。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 中核市である鳥取市との連携として積極的に活用していく必要がある。				

R2年度

Action(改善)					
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナに向けた効果的なPR方法について他自治体と協議を重ねる。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	板井原集落を活用した交流観光の推進	所属	企画課	SDG s	17	
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	15	連番	130

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	板井原集落保存会と連携し、空き家の活用を協議・検討する。また、既に整備を行った施設の管理・活用をしていく。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落内施設管理・活用（養蚕の家など）。 ・ 効果的な情報発信。 ・ 板井原集落保存会と連携し、集落の活性化、活用の協議・検討。

R2年度

Do(実行)	R2実績				0円	
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)	
① 養蚕の家の活用	件	1	1	1	100%	
② 養蚕の家集客数	人	2405	3500	4000	146%	
③ 板井原集落保存会との協議	回	1	1	0	100%	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養蚕の家を利活用(喫茶店)することによって、県内外に板井原集落のPRを行う。 					

R2年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養蚕の家の活用により、多くの観光客の呼び込みが来ている。 ・ 集落内の空き家の活用方法についての検討が出来ていない。 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 板井原集落は重要な観光資源であるが、活用方法について明確なビジョンができていない。				

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力発信事業と連携した効果的なPR活動。 ・ 空き屋の有効活用のため、板井原集落保存会との協議を行い集落の現状を把握する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報発信の強化	所属	企画課	SDG s	17
事業(細目)名	文書広報費	事業番号	1008		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	18	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	広報誌作成等を通し、住民らに行政情報や話題を提供するほか、町外の方に智頭町に興味を持ってもらう契機とする				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回の広報誌の発行 読み手が興味を持つような記事の作成(随時) 読みやすく、興味を引くようなレイアウト、書体の検討(随時) ホームページでの情報発信方法の検討 コロナウィルスに関する情報の発信(随時) 				

R2年度(年度末実績を記入)

Do(実行)	R2実績額				9,858,000円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	広報担当者主導による特集作成数(イベント等によるものを除く)	件	1	6	7	700%
②	広報誌の発行数	冊/年	12	12	12	100%
③	外部団体SNS、発行物への情報提供数	件	6	8	8	133%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌発行 広報誌のレイアウト、ロゴ再検討 withコロナの状況に即した特集作成(智頭歩きなど) 麒麟のまちリレー記事等の作成 新型コロナ特設ページの作成(ホームページ) ホームページリニューアル事業の開始 					

R2年度(11月末に記入)

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナウィルスに関する補助制度等の情報発信や季節の事柄(桜、どうだんつつじ、リンドウ、紅葉)等について情報発信を行った。 広報記事のレイアウトなどを徐々に刷新し、見やすくなるような検討を行った 広報誌のレイアウトを見直した結果、1冊当たりの制作費が増加。コストとデザインの両立について検討が必要 					

R2年度(11月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: レイアウトやロゴの変更など、見やすい広報づくりを行っている。今後は他事業との連携も強化していく必要がある				

R2年度(11月末に記入)

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> 情報媒体としてだけでなく、読み物としても楽しめるような広報誌の作成(需要がありそうな特集記事の作成など。) 広報誌制作コストと読みやすいデザインを両立するための検討。(ページ数や記事スペースの圧縮など。) 新HPの効率的な運用の検討、智頭町魅力発信事業との連携方法についての模索。(HP更新の講習会など) 					

第7次総合計画進行管理検証シート ※総合検討

事業名	国内外へ効果的なPR宣伝	所属	企画課	SDG s	8
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	19	連番 132

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	人口減少に歯止めをかけるために、移住政策や観光PRを積極的に進める中で、国内へのPRのみならず、今後は国外へのPRを積極的に行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住イベント及び観光PRを開催し、移住希望者の確保や観光客の増加に繋げる。 ・ 圏域内の自治体と連携し、PRイベントを開催する。 ・ 麒麟のまち（大阪市北区中之島）を活用して特産品の販売や観光PRを行う。

R2年度

Do(実行)	R2実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	オンライン移住イベントの開催・参加	件	0	1	3	300%
②	観光PRイベントへの参加	5	8	5	1	63%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン移住イベントへの参加 ・ 関西圏への観光PR（観光協会が実施） 				

R2年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		コロナ禍で各種PRイベントの実施が出来ない中、オンラインでの移住相談に参加し、智頭町のPRを行った。				

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：コロナ禍でPRが難しい状況の中、石谷家住宅VRなどを製作し、コロナ後を見据えた取組ができています。				

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ終息の際、智頭町への誘客を着実に行うため、「SDG s」や「住民自治」など町が注力して取り組んでいる事業を積極的にPRしていくことで、効果的な種まきを行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかい奨学パッケージの推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	おせっかい奨学パッケージ推進事業	事業番号	2086		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	20	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもたちの学びたい気持ちを支援し、町外で学ぶ間もおせっかいでの町、町民とのつながり続け、子どもたちの町への愛着を育てる。
Plan(事業概要・計画)	・鳥取信用金庫智頭支店との連携 ・おせっかい奨学パッケージを周知し、おせっかい奨学基金を支えるため寄附活動を行う。 ・おせっかい奨学生とのつながりを持つために、つながる仕組みを構築する。 ・おせっかい奨学生との交流会を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額			3,187,937円		
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 寄付活動	円	0	100,000	50,413	-	
② おせっかい奨学生との交流会	回	0	1	1	-	
③ 鳥取信用金庫智頭支店との連携	回	2	2	2	100%	
実施内容	・おせっかい奨学生との交流会はコロナ渦であり、WEB開催した。 ・おせっかい募金箱を商店街に置き、募金を募った。 ・おせっかい奨学生とメンターとのやりとりについて、LINEグループを作り、開始できた。					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・寄付活動が募金箱設置のみとなってしまった。 ・おせっかい奨学生とメンターのやりとりがスムーズにできなかった。（さらなる理解が必要）					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：ふるさと教育や愛着心の醸成に寄与する事業。寄附金の集め方などが今後の課題				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
・企業版ふるさと納税を活用いただけるようPRする。 ・おせっかい奨学生に本町の情報を流し、町への愛着を持ってもらう。 ・鳥取信用金庫智頭支店との連携を深め、学生をフォローする体制を共に検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公民連携事業の積極的な検討及び実行	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	商工振興費	事業番号	1165		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	1	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	公共事業発注時の規程を整備し、積極的な検討と具体的な実施に取り組む体制をつくる
Plan(事業概要・計画)	役場内における検討チームを立ち上げる 簡単なことから取り組んでみる 民間企業へのサウンディングを行ってみる

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額				0円
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	PFI検討委員会開催	回	0		3	-
②						
③						
実施内容	庁内組織であるPFI検討委員会を立ち上げ、PFI事業の勉強会、実施事業検討、現場見学を行った。 内閣府のR3年度優先的検討規定運用支援事業へ応募申請を行った。					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	各課横断的な取り組みの導入が必要と考えられたため、まずは庁内組織の立ち上げを行った。 専門的な知見を得るため、内閣府事業へ応募し、採択された。 現場を数カ所見学し、優先順位の設定を行った。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：連携協定も公民連携の一つであり、ハード面だけでなくソフト面においても一層進めて行く必要がある。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画 町事業を行う際の検討規程を定め、可能性調査を実施する体制づくりを行う。 簡単なことからでも取り組む雰囲気醸成し、ノウハウを蓄積する。 民間企業とのパイプをとおした様々なアイデアを検討し、行政としての協力可能性を模索する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽化施設更新事業（下水道）	所属	税務住民課	SDGs	6
事業（細目）名	公共下水道総務費	事業番号	1422		
総合計画	基本理念	IV地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	4	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメントによる継続的、計画的な施設の更新

R2年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額					0円
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)	
① 農業集落排水	千円	0	0	0	-	
② 公共下水道	千円	0	0	0	-	
③						
実施内容	R2年度時点で老朽化施設更新の実績はなし					

R2年度（3月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R2年度末時点で更新実績がないため、CHECKはR3年度から実施					

R2年度（11月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：施設の長寿命化のため、計画に沿って修繕等行っている。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメントが完成したので、これを基に短期の計画を作成して実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	新図書館建設事業		所属	教育課	SDG s	10・11・16
事業(細目)名	新図書館建設事業			事業番号	2028	
総合計画	基本理念	IV 町民の安心な暮らし・活動を支えるための、そして未来に受け継ぐ環境整備				
	視点	家族	事業番号	14	連番	136

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	幅広い町民のニーズを捉え、利便性を考慮した図書館建設工事を行い、開館を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事進行管理に基づく適正な工事により完成を目指す。 ・図書館運営に必要な備品購入及び調達を行い、利便性の向上と快適空間を演出する。

R2年度(年度末実績を記入)

単位:円

Do(実行)	R2実績額		4,653,440				
活動実績を示す指標			単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	工事の進行管理	一式	100%	100%	100%	100%	
②	図書館備品の調達	一式	100%	100%	100%	100%	
③							
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業者及び関係機関との協議、調整により、適正な工事完了と物品調達を行う。 						

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育公開学習により子どもの人権学習を深めるとともに、保護者とともに考える機会を持つことができた。 ・総務課、児童館等の関係機関と連携し、人権教育を進めることができた。 					

R2年度(年度末評価を記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 適正に工事進行管理と開館に向けた準備を進めることができています。				

R2年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・工事完了をもって本事業が遂行されたものとして、本検証を終了する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぐるぐるプラン推進事業	所属	税務住民課	SDGs	12
事業（細目）名	ぐるぐるプラン推進事業	事業番号	1854		
総合計画	基本理念	IV地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	21	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	生ごみの減量化、資源化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集し、液肥にすることでリサイクルする。

R2年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績額					3, 8 8 5 千円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	生ごみ回収量	ト	67	67	67	100%
②						
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集 					

R2年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は山形・山郷地区での実施だが、いかに実施地域を広げるか、課題が残る。 					

R2年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 生ゴミの減量の一役を担っている。				

R2年度（3月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間63トンの生ごみを分別収集。原因としては人口減少が考えられるが、さらなる啓発による資源化が必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	資源回収など循環型社会の実現に向けた取組	所属	税務住民課	SDG s	12
事業（細目）名	清掃総務費	事業番号	1118		
総合計画	基本理念	IV地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	22	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	リサイクル・リデュースでごみの削減
Plan(事業概要・計画)	・資源ごみ回収に報奨金

R2年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R2実績見込額				170千円	
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)	
① 資源ごみ回収量	トン	107	100	100	93%	
②						
③						
実施内容	・資源ごみ回収に報奨金					

R2年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・資源ごみ回収によるリサイクルの啓発が出来た。					

R2年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： ゴみの量を減らし、資源として生かすため必要な事業である。				

R2年度（3月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	・回収された資源ゴミは76トンだが年々減少傾向にある。リサイクルに向けての啓発が課題。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	おせっかいのまちづくり推進事業	所属	福祉課	SDG s	11
事業（細目）名	社会福祉総務費	事業番号	1057		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	IV-1

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	少しのおせっかいで人と人がつながり、安心で安全な住みよいまちをつくる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかいチャレンジカードの実施 年7回（小中学校） ・町報紙、告知端末を活用したおせっかいのまちづくりPR

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額				58,675円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	おせっかいチャレンジカードの実施	回	0	7	7	-
②	町報紙でのPR	回	0	2	3	-
③	告知端末でのPR	回	0	14	14	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に、毎月1日の「おせっかいの日」に、自分にできる小さなおせっかいに取り組んでもらい、『おせっかいチャレンジカード』に記入してもらう。 ・町報紙や告知端末（毎月2回）を用いて、おせっかいのまちづくりをPR 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>町報紙への掲載やグッズ等によるPRを行ってきたが、実践につながる事業展開ができていなかった。そこで、令和2年度は小中学生にターゲットを絞って事業の実施を試みた。概ね8～9割の実施率であるが、実施が難しい年代もあるため、実施内容を検討する必要がある。</p>					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：おせっかいのまちづくりを多くの町民に周知するための取組を行うとともに、その一環で小中学生に対しての新たな取り組みが実施出来た。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
おせっかいチャレンジカードは実施期間等を改善し、来年度も引き続き実施する。小中学生だけでなく、保育園でもおせっかいのまちづくりをPRできるように啓発活動を行う。						
幅広い年代への周知のため、町報紙や告知端末を活用したPRを継続して行う。						

第7次総合計画進行管理検証シート【R3年度新規事業用】

事業名	障がい者作業所等通所費助成事業	所属	福祉課	SDGs	8
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりのできるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	IV-2

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者作業所等へ継続して通所出来る環境を保つ
Plan(事業概要・計画)	障がい者作業所等へ通所するのにあたって自家用車、公共交通機関を利用するのに要する費用の一部を助成することで、経済的に継続して通所可能な環境を保つ事を支援する。 3の倍数月毎に、過去3ヶ月分の実績を基に申請を受け付け、年4回の支払を行う。

R3年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R3実績見込額					円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	令和3年1～12月分申請見込 24名	円	748,020	775,590	0	104%
②						
③						
実施内容	自家用車、公共交通機関利用者に対して、申請に基づき実費の半額を助成する。					

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R3年度（11月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：制度的に確立されており、必要な支援ができています				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	現状を維持しつつ、障がい者の就労の場の確保に努める。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ちづみちエリアリノベーション事業	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	ちえの森ちづ図書館から石谷家住宅までのちづみちに人が交流し、賑わうみちとなるよう取組を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度作成したちづみち戦略ガイドブックを浸透させていく。 ・ちづみちで人が集うような取組を行う。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			7,700,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	賑わい創出イベント	回	0	1	1	-
②	空き家を活用した取組	回	0	1	1	-
③		回				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ちえの森ちづ図書館開館に併せて、ちづみちに薪アートを設置し、町文庫をゆっくり読めるようにベンチも設置した。また、ちづみち内のお店を紹介するチラシを作成し、配布した。 ・空き家を活用したカフェが1店舗オープンした。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦での取組であったため、イベントやワークショップなどの企画ができなかった。 ・コロナ渦でもできる取り組みを考えていく必要がある。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	コロナ感染症による影響を受け、計画どおりに進まなかったが、新図書館の完 評価理由：成を機に石谷家住宅までのエリアにおいて、本を通じた取り組みとして今後も 取り組む必要がある				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ちづみち戦略ガイドブックを周知し、活動する人を増やしていく。 ・活動したい人をつなげ、空き家、空き店舗の活用を進める。 ・観光エリアのマネジメントのあり方を見直す。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人と地域をつなぐまちのコイン導入事業	所属	企画課	SDG s	11、17
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	実証実験を行い町内への波及効果を検証する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・導入業者によるフィールドワークの実施 ・関係各所との意見交換会の開催 ・検証実験の実施

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額		7,288,290円			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	商店街加入団体のうちまちのコイン参加団体	店舗数	0	12	5	-
②	まちのコイン参加者	人	0	136	192	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの実施（10月） ・関係各所との意見交換会の開催（10月） ・検証実験の実施 期間：令和3年2月～3月 参加者192人 14スポット 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域である本町で導入した際にどのような使用方法・波及効果があるか協議を重ねていく必要がある。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：	本年度途中からのスタートであり、実証実験を経て有用かどうかを判断する必要があり、有用であれば事業化を進める			

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は本導入を行うため実証実験で出た意見を集約し、波及効果を図るための策を投じる。 ・商工会と連携し、まちのコインを使用できる場面を増やし、まちのコインが身近なものになるよう策を講じる。